

情報教育館（公開講座会場）位置図

**公開講座会場
（情報教育館 3階
スタジオ型多目的中
講義室）**

【交通案内】

- JRご利用の場合**
札幌駅下車、徒歩30分
- 地下鉄南北線ご利用の場合**
北18条駅下車、徒歩10分
北12条駅下車、徒歩20分

北海道大学データ 2008年5月時点

- 1876年 本学の前身となる札幌農学校開校
- 附属図書館、大学病院、12学部、18大学院、3附置研究所、3全国共同利用施設、23学内共同教育研究施設（総合博物館を含む）等を擁する基幹総合大学
- 面積：札幌キャンパス：1,776,248㎡（約178ha）（東京ドームで約38個分）
- 職員数：3,894人
- 学生数：18,262人（82カ国・地域からの留学生864人を含む）
- 国際交流協定締結：161協定（28カ国・地域）
- 詳しいデータはホームページでご覧いただけます。
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/gaiyou/2008/index.html>



※学部と同じ建物の大学院は名称を省略しています。



至麻生
北18条駅
地下鉄
北12条駅
地下鉄
北13条
北13条門
北13条
北12条
北11条
北10条
北9条
北8条
至真駒内
JR札幌駅
地下鉄
さっぽろ駅
至旭川・千歳方面

⑬小麦研究記念碑
我が国の小麦研究の発祥の地「小麦の遺伝で名高い故・水原均博士が研究を始めた地点」を記念するため、小麦研究事業会の資金で建てられた。碑は1976年建設。
乗色体積の単位を図式している。

⑭総合博物館
1999年4月、全国的な学術資料の集約とその情報を学内外に発信提供するために設置された。学術標本の展示、公開している。
ネリツナルツクスを扱う「エルムの森」併設。

⑮人工雪誕生の地記念碑
1935年、ここに常時低温研究室が建ち、翌年3月、故・中谷宇吉郎博士がここで世界の人工雪结晶をつくることに成功した。碑は、この北大の誇るべき学術成果を記念するためのもので、1979年建設。雪の六角平板結晶を模している。

⑯大野池
故・大野和男 工学部教授の立案により、1963年から10年をかけて実施された工学部施設整備の仕上げとして、混沼化していた湿地帯を池に整備した。その後エロキヤンパス推進事業の一環として1998年に整備されて以来、学内外多くの人々の思いの場所となっている。春には様々な植物が芽吹き、野生の鴨が飛来。初夏にはエシノイノウ、夏には蓮の花、秋には紅葉などが楽しめる。

⑰フクリチハイマス・エシノイノウ
学内外で活躍する教育・研究者が利用するグランドハイマスとして、大野池そばに、1995年に建設。2階には会議室等があり、1階にはレストラがある。

北海道大学の美しさは、みんなで守っています。

お願い

- お車での入構はご遠慮下さい。
- 火気の使用はやめましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 樹木の落枝や倒壊に注意しましょう。
- 犬の散歩はマナーを守りましょう。
- 野鳥の餌やりや植物の採取はやめましょう。

大学は教育と研究の場です。構内では静かにしましょう。

北海道大学 総務部広報課
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL 011-706-2610 FAX 011-706-4870
E-mail bureau@hokudai.ac.jp
http://www.hokudai.ac.jp/

PRINTED WITH SOY INK

⑱新渡戸稲造博士顕彰碑
札幌農学校の第2期卒業生。遠友夜学校の創設者。教育者、思想家、また国際連盟事務次長として、平和文化活動に貢献した国際人として知られている。
1996年10月7日、創基120周年記念に際して、新渡戸稲造博士顕彰碑建立事業会から寄贈され、同日除幕式が行われた。

⑳ポプラ並木
1903年、この場所にポプラの小規模な植林が行われた。さらに、1912年、林学科学生の実習として、現在は見られる形の植林が行われた。2004年9月の台風18号により、半数近くのポプラが倒壊したが、全国の皆様からご支援をいただき、樹木の立て直し、若木の植樹が行われ、立入禁止であった並木道もウッドチップが敷かれ約80メートル散策が可能となった。

㉑平成ポプラ並木
創基が整備された延長約300mの河側に、合わせて70本の苗木を植樹した。若木は、現在のポプラ並木から枝を採取し、挿し木により育成したものである。

㉒イチョウ並木
この道路は便宜上、北13条通りと呼ばれる。河側にイチョウが植樹されたのは1939年5月。秋の黄葉が圧巻である(例年の見頃：10月下旬から11月上旬)。イチョウ並木になる前は、サツキエツの並木道であった。長さ約380mの道路の河側に70本のイチョウが植えられている。

㉓都ぞ弥生歌碑
1912年恵迪楽歌(横山秀外作詞・赤木顕次作曲)。創基80周年記念行事に際し、山氏の筆跡。2007年恵迪百年記念祭に際し、台座改修除幕。

㉔植物園
1886年、故・宮部金吾博士の設計により築造、開園した。現在、各種植物約4,000種を保存。面積約133,000㎡。制度上の位置づけは北方生物園ワールド科学センターの教育研究施設だが、札幌市民の憩いの場としても親しまれている。

㉕遺友学会
創基125周年記念事業の一環として建設され、2001年9月に竣工披露が行われた。かつての「遠友夜学校」に由来して名付けられたもので、地域社会と大学との交流の場となることを目的としている。

㉖札幌農学校第二農場(モズル・バーン)
札幌キャンパス中央通り北端にある「札幌農学校第二農場」は、クラフ博士の構想によって、一戸の酪農家をイメージした畜舎と関連施設を並べ、北海道最初の畜産経営の実験農場として約130年前に発足している。そのため、日本畜産の一つの発祥地としての価値と、ワーパー方式のブルドーザー方式の希少な農場建築として評価されている。2004年9月の台風18号により、軒先街地の全域に散在していたと思われる大部分は都市開発のため消滅し、30年を超える保存庭園の一画は、古代史を伺いうる貴重な文化財である。

㉗遺跡保存庭園
9～10世紀頃、このあたりに糠土土器を使う人々の集落があった。その住居跡は札幌市街地の全域に散在していたと思われ、大部分は都市開発のため消滅し、30年以上の歴史を誇る。下部の碑文は有江学長(当時)筆。輝緑凝灰岩製。
小博士(③参照)の筆跡。下部の碑文は有江学長(当時)筆。輝緑凝灰岩製。

㉘寄宿舎跡の碑
1931年から1983年春まで、ここに恵迪寮(学生の寮)があった。新築完成により取り壊しとなり、有志の資金で碑が建てられた。文字は「恵迪」の典故を示す故・佐藤昌介博士(③参照)の筆跡。下部の碑文は有江学長(当時)筆。輝緑凝灰岩製。

㉙農学部
雑草やアザミなど、北大を代表する植物として紹介される。1935年建設。ただし、大戦の影響もあって当初の構想が完成したのは1960年であった。

㉚聖蹟碑
1936年北海道で陸軍特別大演習が行われた際、農学部に「大本営」が設置され、天皇陛下の行在所(假御所)となったことを記念する碑。
1937年除幕。日高産の栢櫨石製。

㉛交流フサ「エルムの森」
1936年北海道で陸軍特別大演習が行われた際、農学部に「大本営」が設置され、天皇陛下の行在所(假御所)となったことを記念する碑。
1937年除幕。日高産の栢櫨石製。

㉜交流フサ「エルムの森」
たいたともに、休憩場所としてもご利用いただけます。旧札幌農学校昆虫学及養蚕学教室が改装し2003年5月にオープン。

この建物は、札幌農学校の校舎群が開校当初の位置(時計台あたり)から現在キャンパスに移転した時建てられた校舎の中で現存する最古のもの。1901年建設。世界的昆虫学者故・松村松年博士の業績の多くはこから世に送り出された。ネリツナルツクスを扱う「エルムの森」併設。

㉝旧図書館
昆虫学及養蚕学教室とはほぼ同時期(1902年)に建てられた貴重な遺構。建築後60余年の間、北大の中央図書館としての役割を果たした。現在はサスティナビリティー学教育研究センターと北大出版会が利用している。

㉞エルムの森
数十本のエルム(はるにれ)がそびえている。後年の補植もあるが、樹齢百年から百数十年とみられる巨木は、ここに札幌農学校が移る以前から自生していた木である。ここは豊平川扇状地の木端部で、地下水に富み、エルムが最も好む地味だった。

①正門
1936年、陸軍特別大演習が行われ、天皇陛下を北大に迎えるに際して新たに築造された門。それまでここにあった門柱は南門に移設され、現在に至る。

②事務局
旧制予科の校舎として1935年から2年がかりで完成。戦後一時、法文学部。1966年から本部(事務局)庁舎。

③佐藤昌介像
札幌農学校第1期卒業生。農学部長、帝国大学総長として約40年在職。北大を自然科学系総合大学として確立させた大功労者。像は1932年除幕、故・加藤顕清作。

④予科記念碑
1907年札幌農学校が東北帝国大学農科大学に昇格したときにその大学の予科として発足し、1950年の新制大学の発足に伴い43年の歴史を閉じた「北海道大学予科」の記念碑。2004年6月、かつての予科生と多くの有志からの贈金(きまきん)によって建立され、本学に寄贈されたものである。

⑤学術交流会館
世界に開かれた北大を目指して国内外の学術交流の場として、1985年3月に建築された。学会、講演会、国際会議等に使用されている。

⑥百年記念会館
北大創基百周年記念事業の一環として1978年完成。建設費は全て寄付金による。1階に大会議室、レストラ。2階ロビーには百年史を解説する写真や資料、3階には会議室等がある。

⑦古河記念講堂
1936年、陸軍特別大演習が行われ、天皇陛下を北大に迎えるに際して新たに築造された門。それまでここにあった門柱は南門に移設され、現在に至る。

⑧中央ロビー
現在は文学研究科の研究室として使われている。

⑨サツキエツ並木
創基125周年記念事業の一環として、かつて学内を流れていたサツキエツ川が(現在は人工流水)。昭和初期までここにサツキエツが遡上していた。

⑩クラフ像
1926年、創基50周年事業として資金により建立。故・田嶋碩郎作。すでに昭和初年国語読本などに載るほど有名になる。太平洋戦争中、金属献納で鋳造されたが、1948年再建。

⑪クラフ会館
1959年建設。おかの国の国立大学では最初の大規模な学生会館。故・杉野理事長(当時)の強力な主導により、創基80周年事業の一環として実現した。

⑫留学生センター
北大生のキャンパスライフになくてはならない施設として利用されている。

⑬留學生センター
世界各国からの留学生に対する日本語教育と生活・修学上の指導を目的に、1991年に設置され、1994年に建物完成した。



Campus Guide Map



北海道大学

